



Colors, Future!
いろいろって、未来。

川崎市

環境アセスメントに係るお知らせ

平成29年1月13日

川崎市環境影響評価に関する条例（平成11年川崎市条例第48号）第11条に基づき川崎駅西口開発計画に係る条例環境影響評価方法書の写しの縦覧を次のとおり行います。

指定開発行為の基本的事項	指定開発行為者	神奈川県横浜市西区平沼1丁目40番26号 東日本旅客鉄道株式会社 執行役員 横浜支社長 渡利 千春
	指定開発行為の名称	川崎駅西口開発計画
	指定開発行為の種類	高層建築物の新設（第1種行為） 商業施設の新設（第3種行為） 大規模建築物の新設（第1種行為）
	指定開発行為を実施する区域	川崎市幸区大宮町1番5 外
	指定開発行為の目的	業務・宿泊・商業施設の新設
	指定開発行為の内容	開発区域面積：約12,400㎡ 建築面積：約11,150㎡ 延べ面積：約138,900㎡ 建物高さ：約131m（塔屋等を含む最高高さ約143m）
	指定開発行為の施行期間	着工予定：平成30年2月／完了予定：平成34年4月
縦覧のお知らせ	縦覧期間及び時間	期 間：平成29年1月13日（金）～平成29年2月27日（月） 土曜日、日曜日及び祝日は除く。ただし、幸区役所では、第2・第4土曜日の午前8時30分～午後0時30分も縦覧を行います。 時 間：午前8時30分～午後5時 上記期間中、本市ホームページにて当該条例方法書の内容を御覧になれます。 http://www.city.kawasaki.jp/kurashi/category/29-2-0-0-0-0-0-0-0.html
	縦覧場所	川崎区役所、幸区役所及び環境局環境評価室（市役所第3庁舎15階）
	意見書の提出	縦覧中の条例方法書について、環境の保全の見地から御意見のある方は、川崎市環境影響評価に関する条例（以下「アセス条例」という。）第13条第1項の規定に基づき、次のとおり、どなたでも意見書を提出することができます。 1 意見書を提出できる方 環境の保全の見地からの御意見のある方は、どなたでも提出することができます。 2 意見書に記載していただく内容 条例方法書に記載された環境影響評価項目の選定、評価項目ごとの調査、予測及び評価の手法等について、 <u>具体的かつ明瞭に意見をお書きください。</u> なお、この意見書は川崎市に対する御意見や御質問を受けるものではありませんので御注意ください。 3 提出された意見書の取扱い (1) 提出された意見書は川崎市環境影響評価に関する条例第13条第2項の規定に基づき、 <u>個人情報</u> を伏せてその写しを指定開発行為者（事業者）に送付します。 (2) 指定開発行為者（事業者）は、意見とそれに対する見解を記載した資料を作成し、市に提出します。市は、これを環境影響評価審議会に提出するとともに、条例方法審査書を作成する際に考慮します。 (3) 条例方法書に対する意見の概要と見解は、後日指定開発行為者（事業者）が作成する条例準備書にも記載され、市はこれを縦覧いたします。 (4) <u>記載していただいた個人情報</u> は、 <u>提出された意見の内容を確認する場合に利用します。</u> また、個人情報は、川崎市個人情報保護条例に基づき厳重に保護・管理します。 4 意見書の提出方法 下記提出先まで郵送又は持参により御提出をお願いします。 5 意見書を提出できる期間 条例方法書の縦覧期間中（平成29年1月13日～平成29年2月27日） （郵送の場合は、平成29年2月27日消印有効） 提出先 川崎市環境局環境評価室（市役所第3庁舎15階） 〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地 ※意見書の用紙は、それぞれの縦覧場所に用意してあります。なお、提出年月日、郵便番号、住所、氏名、電話番号、指定開発行為の名称、図書の名称及び意見が記入されていれば、意見書の用紙は問いません。
問合せ先	川崎市環境局環境評価室 〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地 電話番号：044-200-2156	